

① 芸術文化のまちづくり

心豊かで充実した人生

これまでロビーコンサートやアウトリーチ活動を進めてきた芸術文化について、今年度はこれからの芸術文化のまちづくりの指針となる「(仮称) 芸術文化のまちづくり条例」を策定します。また、芸術文化支援事業およびポータルサイトを用いた情報発信も引き続き行います。



① 学校施設の整備

安心の学校生活

安心して学校生活を送り、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むことができるように、学校の施設・設備の改修や修繕を計画的に行います。また、衛生面や社会で洋式化が進んでいる現状を踏まえ、今年度は三芳小学校・唐沢小学校の洋式トイレの整備の設計を行います。



① 協働のまちづくり

誰もが活躍できるまち

高齢者の8割は元気な高齢者。社会活動の対象者の掘り起こしを行うアクティブシニア・アプローチ事業などにより、豊かな知識や経験を生かして活躍できる環境を作ります。加えて、女性のさらなる社会進出、地域コミュニティの拠点や災害時の一時避難所である集会所の計画的な更新も行います。



世界の MIYOSHI へ。国際交流の充実



個々がいきいきと輝くまちづくりを進めるために欠かせない人と人との交流。町の文化を発信し、認められることで、三芳の魅力が再発見し、これまで以上に地域に愛着を持つことにつながります。また、国境を超えたやり取りが盛んになる中、国際的な交流を通じて、町の文化向上を図るとともに、地域に根差した国際的な人材育成が求められています。このため、昨年12月にマレーシア ペタリングジャヤ市と姉妹都市提携を行い、文化・芸術をはじめ様々な分野で国際交流を進めることにしました。

国際交流事業

今年度は、姉妹都市提携記念事業としてペタリングジャヤ市の舞踊家を招待し、文化交流を図るフェスティバルを開催、三芳町からは、ペ

タリングジャヤ市のフォークロアフェスティバルに訪問団を派遣します。

また、ペタリングジャヤ市が主催する研修プログラムへ中学生を派遣するとともに、アジアパシフィックスマートスクールとの教員相互交流を行い、様々な体験や交流を通じて、異文化理解を促し、国際感覚を向上させます。

MIYOSHI オリンピアード

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、“MIYOSHI オリンピアード”～オリンピズムによる“まちづくりムーブメント”～として、事前キャンプ誘致やホストタウン認定に取り組みます。また、海外のスポーツ選手と住民との交流などを実施し、国際交流やスポーツへの関心の向上に努めます。

町の進む未来 主要事業紹介

新たに始まる事業も含め、平成30年度の主な事業を紹介します。

① みんなで未来を拓くまち

未来を担う子どもたちが将来、活躍できるよう創造性豊かな人材を育成していきます。みらいのぞみ学校創造支援事業、英語指導助手(ALT)のすべての小中学校への配置、特別支援学級級助員の

増員に努めます。また、経済的に就学が困難な家庭への負担の軽減により、安心して学校生活を送ることができるように努めます。

また、一人ひとりが心豊かで充実した人生を送るため、生涯にわたり、様々な学びに取り組むことができるように、文化財の保護や芸術文化・スポーツを推進します。

② 安全安心で幸せに暮らせるまち

障がい者福祉については、相談支援の高い技術を持った職員を配置した基幹型相談支援センターを設置します。また、あいサポート運動、聴覚障がい者緊急対応システム事業、初めての手話講座を継続します。

防災については、大規模災害時に備え、被災者支援システムを導入します。また、地域連携避難訓練の継続、防災行政無線のデジタル移行を行います。さらに、自転車利用への安全意識の向上をめざし、スタントマンが事故現場を再現するスケアードストレッチ教室を行います。

子育てについては、昨年12月に第2保育所の移管先法人が決ま